

令和 6 年度

「運営に関する計画」
(最終評価)

大阪市立姫島幼稚園

令和 7 年 2 月

大阪市立姫島幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○本園は昨年度まで遊戯室が使用できない状況にあった。今年度から園庭や遊戯室を使用することで、一つ一つの活動や保育内容に対して教職員の共通理解や安全確認が必要である。安全教育の見直しや幼児自身の意識の向上、保護者への啓発を図っていきたい。また、新しくなった園内の環境をいかして保育を行うために、教育課程、指導計画の見直しを行っていく。

○一人一人に寄り添った保育を心がけると共に、関係諸機関や家庭との連携、教員の特別支援教育に対する理解、知識の向上、クラス運営の在り方を探っていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は安全に関する教育ができているか」の項目について、「そう思う、だいたいそう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で、90%以上にする。

○令和7年度の本園アンケート調査で、「一人一人の個性を大切にし、意欲や自信を持たせる教育活動が実践されていると思われますか」の項目について、「そう思う、だいたいそう思う」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は遊びを中心に実体験を大切にした教育活動に取り組んでいると思われますか」の項目について、「そう思う、だいたいそう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で、90%以上にする。

○令和7年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は、幼児期のおわりまでに育ってほしい10の姿を大切にした教育活動に取り組んでいると思われますか」の項目について、「そう思う、だいたいそう思う」と回答する保護者の割合を90%以上にする。

○令和7年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は健康に関する指導に努めていると思われますか」の項目について、「そう思う、だいたいそう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は、教職員の連携を深め、幼児の育ちを大切にした環境を整えていると思われますか」の項目について、「そう思う、だいたいそう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で90%以上にする。

○令和7年度の本園アンケート調査で、「お子さまは、幼稚園に入園して絵本にふれる経験が増えたと思われますか」の項目について、「そう思う、だいたいそう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で90%以上にする。

○令和7年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は、園の教育内容や取組について保護者や地域、近隣の学校などへ情報発信をしていると思われますか」の項目について、「そう思う、だいたいそう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- 令和6年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は安全な生活の仕方に関する保育ができるか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上を維持する。
- 令和6年度の本園アンケート調査で、「一人一人の個性を認め、自分らしく意欲をもつて園生活を楽しむ教育活動が実践されていると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上を維持する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- 令和6年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は遊びを中心に実体験を大切にした教育活動に取り組んでいますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上を維持する。
- 令和6年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は、幼児期のおわりまでに育ってほしい10の姿を大切にした教育活動に取り組んでいると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を全学年で85%以上を維持する。
- 令和6年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は健康に関する指導に努めていると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上維持する。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- 令和6年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は、教職員の連携を深め、幼児の育ちを大切にした環境を整えていると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上維持する。
- 令和6年度の本園アンケート調査で、「お子さまは、絵本やお話を興味をもつようになりましたか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上維持する。
- 令和6年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は、園の教育内容や取組について保護者や地域、近隣の学校などへ情報発信をしている」と思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上維持する。

3 本年度の自己評価結果の総括

毎年肯定的な回答をいただいていることから、今年度は肯定的な回答を更に絞り「そう思う」と回答する保護者の割合を維持できるように努めた。アンケートの各項目ともに肯定的な回答をいただいたことから、年度目標は達成できたと考える。

安心・安全な教育の推進の項目については、安全に対する教育内容を保護者によりわかりやすく周知する工夫が必要であることから、次年度に向けて取組を考えていきたい。

大阪市立姫島幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和6年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は安全な生活の仕方に関する保育ができているか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上を維持する。</p> <p>○令和6年度の本園アンケート調査で、「一人一人の個性を認め、自分らしく意欲をもって園生活を楽しむ教育活動が実践されていると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上を維持する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育の推進】</p> <p>幼稚園内での安全な生活の仕方に対する関心や意識を高める保育を進める。</p> <p>-----</p> <p>指標・安全な生活の仕方についての指導を月1回以上実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に関する指導の内容をHP等を用いて年10回以上、保護者へ啓発する。 	A
<p>取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>一人一人の子どもに寄り添った環境を整える。</p> <p>-----</p> <p>指標・学期に1回園内委員会を実施し子どもの実態把握や支援方法を共通理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回以上、遊びの環境を見直し、整える。 	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートにおいて「幼稚園は安全な生活の仕方に関する保育ができているか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合は全学年で85%であった。 ・年間で9回、避難訓練を行った。小学校への津波訓練では、保護者への引き取り訓練を実施し、安全なルート等を知らせたことで、津波発生時の避難について保護者と子どもの意識を高めることができた。預かり保育中や、事前に周知無しの状態での訓練など、様々な状況を想定した訓練を行ったことで、子どもの実態を知り、教職員の臨機応変な対応が必要であるという課題を共有することができた。 ・3学期に、防災指導を全園児に行った。地域の特性をふまえた避難の仕方や避難姿勢の取り方などについてパワー・ポイントを使って知らせた。子どもたちと避難の仕方を振り返ったことで、防災意識を高めていくことにつながった。 	

- ・安全な生活の仕方についての指導を月1回以上行った。遊具の扱い方、電車やバスの乗り方、園外の安全な歩き方などを実際に保育室や遊戯室でシミュレーションをしながら伝えたことで、子どもたちが安全に行動できるようになってきている。
- ・熱中症対策として、養護教諭が熱中症についてパワーポイントを使って子どもに分かりやすく日陰で過ごすことや水分補給の大切さを伝えた。保冷剤を体にあてて体を冷やす「ひえひえタイム」を行い対策を伝えていくことで、子ども自身も水分補給を率先して行うようになり、安全な生活に対する意識が高まった。
- ・年間で安全に関する指導内容を10回以上ホームページにあげた。アンケートで熱中症対策をしていて安心しているなどの意見もあがり、保護者の関心が高まっている。

取組内容②

- ・保護者アンケートにおいて「一人一人の個性を認め、自分らしく意欲をもって園生活を楽しむ教育活動が実践されていると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合は全学年で92%であった。
- ・4月、10月、1月に園内委員会を実施し、全職員で支援を要する子どもについての話し合いをした。子どもの実態や支援方法を共通理解したことで、一人一人の子どもに応じた支援につながっている。
- ・巡回指導では7月に作業療法士、10月に理学療法士、2月に言語聴覚士の先生から、専門的な視点で支援方法を学び、保育に活かすことができた。また、就学先や通所先の先生に子どもの様子を見てもらったり、療育施設を見学させてもらったりしたことで、園、家庭、小学校、療育施設で連携を図ることができた。
- ・子どもの実態に応じて保育室や廊下にクールダウンをするスペースを設置したり、園内に掲示物を貼ったりした。また行事では、教職員が連携をしながら子どもが安心して参加できる方法を考えた。環境を整えたり活動の取り組み方を工夫したりしたことで、一人一人が安心して園生活を楽しむ姿が見られた。
- ・職員を活用し、クラスの活動に応じて職員や介助サポーターの配置を考え共有することを継続していることで、子どもが安心して活動に参加することができた。
- ・ホームページや降園連絡等を活用し、一人一人に寄り添いながら保育を実施している内容や写真を掲載したことが保護者理解へつながった。今後も継続していく。

次年度への改善点

取組内容①

- ・事前予告無しの訓練の回数を増やし、子どもも職員も考えて臨機応変に行動する力を身につけるようにする。

取組内容②

- ・研修などに参加し、支援方法等を積極的に学ぶことで保育力を向上させる。

大阪市立姫島幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和6年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は遊びを中心に実体験を大切にした教育活動に取り組んでいますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上を維持する。</p> <p>○令和6年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は、幼児期のおわりまでに育ってほしい10の姿を大切にした教育活動に取り組んでいると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を全学年で85%以上を維持する。</p> <p>○令和6年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は健康に関する指導に努めていると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上を維持する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向3、幼児教育の推進と質の向上】 就学前教育カリキュラムに基づき、身近な自然環境を通して様々な遊びを楽しむ子どもを育てる。</p> <p>指標・学期に1回、遊びの環境を見直し整える。 ・園内研修や自然と触れ合う遊びに関する検討会を年4回以上行う。</p>	A
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 子どもの興味関心に寄り添った保育を行う。</p> <p>指標・10の姿を意識した保育を学期に1回以上行う。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】 年間計画に沿って健康に関する指導を行う。</p> <p>指標・年10回以上、健康に関する指導を行う。 ・年10回以上、保健指導の内容について保健だよりや掲示物を通して知らせ、保護者へ啓発をする。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートにおいて「幼稚園は遊びを中心に実体験を大切にした教育活動に取り組んでいますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合は全学年で94%であった。 ・学期に1回以上、身近な遊びの環境を見直し整えることができた。年間を通して子どもたちと種を植え、花が咲く様子を観察したり、草花をごっこ遊びに使ったりした。また、畑を子どもと一緒に耕しジャガイモやマメ、タマネギを栽培した。球根や苗に触れる機

会を意図的にもつことで、違いを知らせながら様々な植物の生長に興味をもつことができた。寒い日には子どもたちと氷が作れるように容器に水を張ったり、プールにできた氷を触ったりしたことが、冷たさや凍る不思議さに興味をもつ姿につながった。

- ・自然と関わって遊ぶ時間「わくわくタイム」をつくり、子どもがどんなことを楽しんでいるのかを捉える検討会を5回以上行った。環境や準備物について考えてきたことが、教師の教材研究や身近な自然を楽しむ子どもの姿につながった。
- ・年間で3回、園内研修を実施し検討会を行った。教職員が意見を出し合い、次に繋がる保育の進め方を学ぶ機会になった。9月には研究保育を実施し、他園の教師と気付きを共有することで自然と触れ合って遊ぶための環境構成や働きかけを学ぶ機会となった。

取組内容②

- ・保護者アンケートにおいて「幼稚園は、幼児期のおわりまでに育ってほしい10の姿を大切にした教育活動に取り組んでいると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合は全学年で96%であった。
- ・10の姿を意識した保育を学期に1回以上行った。園内研修会では、保育案に10の姿を記載することで、保育の視点を意識した保育に取り組んだ。視点を決めて反省会で意見交換を行うことで、様々な視点で子どもの育ちを捉えることができた。
- ・10の姿を保護者の方にも理解し、感じてもらえるよう行事のしおりに記載した。事後アンケートには、幼児の様子で感じた10の姿と理由について記入してもらう項目をつくったことで保護者の10の姿の捉えや考えを知ることができ、教職員の学びの機会となつた。

取組内容③

- ・保護者アンケートにおいて「幼稚園は健康に関する指導に努めていると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合は全学年で94%であった。
- ・年間計画通り全て実施することができた。毎月1回以上、ほけんだよりやホームページで保健指導の様子や、教材の具体的な指導方法を伝えたり、保護者講話でパワーポイントを使い、具体的な指導方法を知らせたりしたことで、啓発につながった。
- ・1学期は、手洗い・うがい、和式トイレの使い方、歯と口の健康、熱中症予防について指導をした。歯と口の健康での指導では、歯の模型を手本とし、音楽に合わせて歯みがきをしたことで指導後も継続して丁寧にみがく習慣がついてきている。
- ・2学期は、けがの手当て、プライベート-parts、風邪予防、いのちの授業をした。いのちの授業では妊娠されている保護者に特別講師となっていただき、質疑応答やお腹を触らせてもらったことで、いのちの大切さを伝える機会になった。
- ・成人保健委員会主催で、保健指導を実施した。保健面での相談会も行い、各家庭での悩みを教えてもらうことで、色々な考えに気づく機会になり、保護者との連携の必要性を感じた。

次年度への改善点

取組内容①

- ・自然に気付きにくい時期があるので、自然を意識した保育を進めるようにする。

取組内容②

- ・教職員が10の姿を理解し、自分の言葉で保護者や地域に保育内容を話せる力を身につけることが必要である。

取組内容③

- ・家庭と連携し、家庭や園児の実態から考えられる課題をふまえた保健指導を進める。

大阪市立姫島幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和6年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は、教職員の連携を深め、幼児の育ちを大切にした環境を整えていると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上維持する。</p> <p>○令和6年度の本園アンケート調査で、「お子さまは、絵本やお話を興味をもつようになりましたか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上維持する。</p> <p>○令和6年度の本園アンケート調査で、「幼稚園は、園の教育内容や取組について保護者や地域、近隣の学校などへ情報発信をしていると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合を、全学年で85%以上維持する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>勤務時間内に、教職員間での園業務や幼児の実態について共通理解を図る。</p> <p>指標・月1回以上、行事予定表や細案を活用し、効率的に園業務に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校園における働き方改革推進プランにおける教員の1ヶ月の時間外勤務時間を基準2（45時間を超える月を1年間6月まで）にする。 	B
<p>取組内容②【基本的な方向8、生涯学習の支援】</p> <p>絵本にふれたり、いろいろなお話を見たり聞いたりする機会を多くもてるようする。</p> <p>指標・学期に1回、絵本室の環境を見直し、子どもや保護者が絵本に親しめるようする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週3回以上、絵本を読み聞かせする。 	B
<p>取組内容③【基本的な方向9、家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】</p> <p>幼稚園の教育内容や取組について地域や保護者、近隣の学校などへ情報発信する。</p> <p>指標・週3回以上、ホームページの学校日記（保育の様子）を更新する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回以上、幼稚園の教育内容や取組の掲示物を作成し園舎外に掲示したり、近隣の施設に掲示や配架をお願いしたりする。 	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートにおいて「幼稚園は、教職員の連携を深め、幼児の育ちを大切にした環境を整えていると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合は全学年で92%であった。 ・月1回以上、行事予定表や細案を活用した。事前に打ち合わせ内容を確認することで、

職員の共通理解を図った。細案に全体業務を入れることで、職員会議の際に準備について確認することができ、仕事の効率化につなげることができた。

- ・学校園における働き方改革推進プランにおける教員の1ヶ月の時間外勤務時間は基準2(45時間を超える月を1年間6月まで)を達成した。

取組内容②

- ・保護者アンケートにおいて「お子さまは、絵本やお話を興味をもつようになりましたか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合は全学年で90%であった。
- ・学期に1回以上、絵本室の環境を見直した。季節や時期に合わせた絵本を、子どもが見やすいようラックに置いたり、図書館からの配本をいつでも手に取れる場所に置いたり、返す場所が分かるよう背表紙にイラストの印を付けたりしたことで、子どもが様々なジャンルの絵本を読み、興味をもつようになった。
- ・保護者との絵本貸出を積極的に行ってもらえるよう、1階にも絵本コーナーを設けた。絵本貸出の機会を多くもつことで、絵本の貸し出し率が増えた。
- ・外部講師による絵本や音楽に合わせたお話を見たり、参観で保護者に絵本の読み聞かせをしてもらう機会をもったりしたことで、様々なお話を興味関心を広げていくことになった。
- ・誕生会や週3回以上降園前などに絵本の読み聞かせを行うことで、いろいろな場面で季節に合ったお話を親しむ機会をもつことができた。

取組内容③

- ・保護者アンケートにおいて「幼稚園は、園の教育内容や取組について保護者や地域、近隣の学校などへ情報発信をしていると思われますか」の項目について、「そう思う」と回答する保護者の割合は全学年で92%であった。
- ・日々の保育の様子や、幼稚園行事など、週4回以上ホームページを更新することを継続している。保護者や園外の方にも幼稚園の教育内容や幼稚園生活について知ってもらう機会となった。
- ・区の広報誌やホームページに未就園活動について掲載してもらったり盆踊りでポスターを配ったりすることで、幼稚園の教育内容や取り組みに興味をもち、来園してもらう方も増えてきた。
- ・幼稚園ポスターや食育ポスターを作成し園舎外や、地域の学校、施設、区役所、駅などに掲示や配架することで、継続的に周知の工夫に努めている。

次年度への改善点

取組内容①

- ・打合せの内容を精査し、業務が円滑に行えるようにする。
- ・教職員が保育準備をしている様子などをホームページにあげ、啓発する。

取組内容②

- ・絵本の長さや内容により、最後まで集中がもたないことがある。様々な内容の絵本を読む機会をつくり、昔話などにも興味がもてるよう知らせていく。

取組内容③

- ・継続的に発信しているが、園児数に繋がりにくい。幼稚園の教育内容に关心をもつことができるように、それぞれの職員が保育内容を自分の言葉で発信するようにする。